平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月29日

上場会社名　株式会社 田谷　　上場取引所　東
コード番号　4679　URL　http://www.taya.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 田谷　和正
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員経営企画推進室長　(氏名) 田代　久士　TEL 03-5772-8411

四半期報告書提出予定日　平成25年2月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,134	△3.8	125	△72.2	119	△73.7	5	△96.7
24年3月期第3四半期	9,493	△1.2	452	83.9	452	93.5	164	677.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	1.10	―
24年3月期第3四半期	32.58	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	8,578	4,313	50.3	863.26
24年3月期	8,992	4,418	49.1	884.15

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　4,313百万円　24年3月期　4,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	22.00	22.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				22.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,600	0.7	345	△31.8	335	△33.3	150	△7.2	30.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧になってください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	5,100,000 株	24年3月期	5,100,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	102,895 株	24年3月期	102,895 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	4,997,105 株	24年3月期3Q	5,057,132 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 2「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書
第３四半期累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるわが国経済は、震災の復興需要等を背景に、景気に緩やかな復調傾向がみられたものの、世界景気の減速懸念もあり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

美容業界におきましても、雇用情勢や所得環境は依然厳しさが残り、先行き不透明感から消費者の生活防衛意識による節約志向は依然根強く、業界内の競争激化もあり、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社といたしましては『笑顔力』をスローガンに、美容師の技術と笑顔で、多くの方々が“笑顔”になっていただけるように顧客サービス等の一層の充実を図り、地域において顧客満足ナンバーワンのサロンを目指し、既存店の強化を行ってまいりました。

美容施術では、季節毎にヘアカラーの新色を導入し、また化粧品分類溶剤を使用した「コスメカール」など施術のラインナップを充実させ、お客様一人ひとりの髪の悩みを解決し理想のヘアスタイルを実現するオリジナルテクニック「テクスチャーチェンジ（質感変化）」を施し、また、10月からは創業48周年の「大創業祭」を実施し、全てのお客様に新たなメニュー「頭皮クレンジング」を無料サービスするなど、お客様に喜んでいただけるよう努めてまいりました。

店舗につきましては、「TAYA&CO.GINZA銀座本店」を銀座晴海通り沿いに移転、クレージュ・サロン・ボーテ２店舗（ミーナ津田沼店、天神今泉店）、ＴＡＹＡ１店舗（シァル鶴見店）を新規出店しましたが、クレージュ・サロン・ボーテ１店舗（鶴見店）を閉鎖し、当第３四半期会計期間末の店舗数は、美容室149店舗と小売店１店舗となりました。

しかしながら、消費者動向は極めて慎重であり、既存店における入客数の減少傾向が続き、売上が低迷のまま推移いたしました。

以上の結果、当社の当第３四半期累計期間の業績は、売上高9,134百万円（前年同期比3.8％減）となり、営業利益125百万円（前年同期比72.2％減）、経常利益119百万円（前年同期比73.7％減）となり、四半期純利益は５百万円（前年同期比96.7％減）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第３四半期会計期間末の総資産は8,578百万円となり、前事業年度末と比べて414百万円減少いたしました。

流動資産の残高は2,726百万円となり、前事業年度末と比べて335百万円減少いたしました。固定資産の残高は5,851百万円となり、前事業年度末と比べて78百万円減少いたしました。主な減少は、現金及び預金の減少309百万円、敷金及び保証金の減少74百万円であります。

当第３四半期会計期間末の負債総額は4,264百万円となり、前事業年度末と比べて309百万円減少いたしました。

流動負債の残高は2,348百万円となり、前事業年度末と比べて384百万円減少いたしました。固定負債の残高は1,916百万円となり、前事業年度末と比べて75百万円増加いたしました。主な増加は、長短借入金の純増41百万円、社債の純増102百万円、主な減少は、未払法人税等の減少194百万円、賞与引当金の減少111百万円であります。

当第３四半期会計期間末の純資産は4,313百万円となり、前事業年度末と比べて104百万円減少いたしました。以上の結果、自己資本比率は前事業年度末49.1％から50.3％に増加いたしました。

（３）業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。なお、平成25年3月期の通期業績予想につきましては、平成24年10月29日公表の平成25年3月期第2四半期決算短信の予想数値から変更はございません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はございません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ1,143千円増加しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はございません。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,129,313	1,820,119
売掛金	555,885	573,761
商品	48,011	47,533
美容材料	34,208	33,944
その他	295,577	252,480
貸倒引当金	△1,008	△1,008
流動資産合計	3,061,987	2,726,831
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,786,188	1,708,017
土地	1,375,445	1,375,445
その他（純額）	69,964	61,909
有形固定資産合計	3,231,599	3,145,373
無形固定資産	63,871	57,146
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,141,330	2,066,949
その他	508,749	582,112
貸倒引当金	△15,188	△151
投資その他の資産合計	2,634,891	2,648,911
固定資産合計	5,930,362	5,851,430
資産合計	8,992,349	8,578,262

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年３月31日)	当第３四半期会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	406,671	465,896
短期借入金	149,668	225,000
1年内返済予定の長期借入金	502,866	506,396
1年内償還予定の社債	128,000	100,000
未払法人税等	228,986	34,141
賞与引当金	217,109	105,573
資産除去債務	10,281	1,778
その他	1,089,534	909,413
流動負債合計	2,733,117	2,348,199
固定負債		
社債	150,000	280,000
長期借入金	1,069,121	1,031,833
退職給付引当金	372,517	376,788
資産除去債務	172,809	183,268
その他	76,578	44,395
固定負債合計	1,841,026	1,916,286
負債合計	4,574,143	4,264,486
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,480,180	1,480,180
資本剰余金	1,702,245	1,702,245
利益剰余金	1,395,236	1,290,806
自己株式	△159,455	△159,455
株主資本合計	4,418,206	4,313,776
純資産合計	4,418,206	4,313,776
負債純資産合計	8,992,349	8,578,262

（２）四半期損益計算書
（第３四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	9,493,233	9,134,974
売上原価	7,942,616	7,902,085
売上総利益	1,550,616	1,232,888
販売費及び一般管理費	1,098,154	1,107,137
営業利益	452,462	125,751
営業外収益		
受取利息	1,059	953
不動産賃貸料	8,248	7,970
その他	21,159	18,730
営業外収益合計	30,468	27,654
営業外費用		
支払利息	22,264	21,630
不動産賃貸費用	5,136	5,516
社債発行費	－	3,417
その他	3,514	3,747
営業外費用合計	30,915	34,310
経常利益	452,014	119,095
特別損失		
固定資産除却損	5,396	4,598
減損損失	22,081	－
訴訟関連損失	－	14,677
その他	4,650	－
特別損失合計	32,127	19,275
税引前四半期純利益	419,887	99,819
法人税、住民税及び事業税	184,627	44,793
法人税等調整額	70,495	49,520
法人税等合計	255,123	94,313
四半期純利益	164,764	5,506

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はございません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はございません。